

議長（門 瀧雄）

これをもって、提案者の提案理由の説明を終わります。

日程第 18 議案第 18 号 平成 25 年度多度津町水道事業会計予算についてを議題と致します。

提案者の提案理由の説明を求めます。

上下水道課長、矢野君。

上下水道課長（矢野 孝雄）

議案第 18 号 平成 25 年度多度津町水道事業会計予算について提案説明を申し上げます。多度津町水道事業会計予算書をご準備下さい。

地方公営企業会計に基づきまして、水道事業予定損益計算書及び予定貸借対照表は、消費税抜き、その他は、消費税込みとなっております。

それでは、平成 25 年度予算書について説明を申し上げます。

予算書 1 ページをお開きください。

予算書 1 ページに記載してあります、第 2 条業務の予定量といたしましては、(1)月平均給水栓数は 1 万 429 栓となりまして、前年度より 155 栓の増加を見込んでおります。(2)年間配水量は前年度に比べて 2.4%、8 万 6 千 m³減の 347 万立方メートルでございます。(3)1 日平均配水量は、9 千 507 m³の予定でございます。(4)主要な建設改良事業の配水設備工事費といたしまして、老朽配水管更新工事、配水管新設工事、消火栓新設及び移設工事などで 1 億 8 千 72 万 6 千円を計上いたしました。

この内容は、25 ページの資本的支出明細書に記載してありますので、後ほどご覧頂きたいと思っております。

次に第 3 条 収益的収入及び支出でございます。

収入、第 1 款 水道事業収益でございますが、前年度予算に対しまして、1 千 876 万円減の 7 億 1 千 470 万 1 千円を計上いたしました。その内訳といたしまして、第 1 項 営業収益は、水道料金の減収見込みなどにより前年度予算に対しまして、1 千 823 万 4 千円減の 6 億 9 千 722 万 2 千円を計上いたしました。第 2 項 営業外収益は、1 千 747 万 8 千円を計上いたしました。

また第 3 項 特別利益として、老朽化した量水器を売却していくため、存目 1 千円を計上いたしました。

次に、支出でございます。

第 1 款 水道事業費用でございますが、前年度予算に対しまして 0.5%、383 万 8 千円減の 7 億 815 万 7 千円を計上いたしました。その内訳といたしまして、第 1 項 営業費用は、6 億 3 千 616 万 4 千円を計上いたしました。

第 2 項 営業外費用は、6 千 989 万円を計上しました。

第 3 項 特別損失は、前年度と同額の 10 万 3 千円を計上しました。

第4項 予備費は、前年度と同額の200万円を計上しました。

なお、17ページから23ページにかけて収益的収入及び支出明細書を添付しておりますので、後ほどご覧頂きたいと思います。

次に、予算書の2ページをお開きください。

資本的収入及び支出でございますが、第1款 資本的収入といたしまして、前年度予算に対し、51.2%、9千994万4千円減の9千537万7千円を計上いたしました。内訳といたしましては、第1項 企業債は、9千万円を計上しまして、これは配水設備工事費に充てるためのものでございます。

第2項 工事負担金は、537万7千円を計上して、これは消火栓新設移設工事の負担金で、一般会計からの繰入でございます。

次に、第1款 資本的支出といたしまして、前年度予算に対しまして27.9%、1億4千758万1千円減の3億8千226万7千円を計上いたしました。内訳といたしましては、第1項 建設改良費は、1億8千671万8千円を計上しまして、老朽配水管更新工事費、配水管新設工事費、消火栓新設移設工事費及び量水器の購入費でございます。

第2項 企業債償還金は、1億9千554万9千円を計上いたしました。

以上の資本的収入及び資本的支出の予算計上によりまして、第4条に記載しております、資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額2億8千689万円は、当年度消費税及び地方消費税資本的収支調整額889万円、当年度損益勘定留保資金1億9千949万9千円、減債積立金4千212万2千円、建設改良積立金3千637万9千円で補てんするものがございます。

この内容につきましては、24ページ、25ページに資本的収入及び支出明細書を添付しておりますので、後ほどご覧頂きたいと思います。

次に、2ページの第5条、企業債でございますが、起債の目的は配水設備工事費で、限度額として9千万円を計上いたしました。

第6条、一時借入金として、一時的な資本不足を補うために、限度額5千万円を計上いたしました。

第7条は、予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合につきましては、(1) 営業費用と営業外費用との間においても執行できる事を定めるものがございます。

第8条は、議会の議決を経なければ流用することのできない経費といたしまして、(1) 職員給与費は前年度予算に対しまして6.7%、515万5千円増の8千175万9千円を計上いたしました。

(2) 交際費は、前年度と同額の25万円を計上いたしました。

なお、職員給与費につきましては、8ページから13ページに給与費明細書を添付してありますので、後ほどご覧になって頂きたいと思います。

第9条、たな卸資産購入費限度額は、623万6千円を計上いたしました。
この内容といたしましては、営業費用の各目の材料費と材料売却原価の合計額に消費税を算入したものとなっております。

次に、14ページをお開きください。

平成25年度水道事業予定損益計算書について、ご説明をさせていただきます。
収益的収入及び支出の予算計上によりまして、予定損益計算書の1.営業収益は6億6千428万9千円で、2.営業費用は、6億2千66万3千円となり、営業利益は、4千362万6千円です。また、3.営業外収益は1千707万7千円で、4.営業外費用は6千134万円となり、経常損失は、63万7千円です。5.特別損失10万3千円、6.予備費190万4千円を加算し、当年度純損失は264万4千円でございます。したがって、当年度未処分利益剰余金は、4億5千323万1千円となります。

次に、15ページをお開きください。

平成25年度水道事業予定貸借対照表について説明をさせていただきます。
平成25年度の資本金的収入及び支出の予算計上によりまして、水道事業予定貸借対照表、資産の部、1.固定資産の(1)有形固定資産合計は、82億2千456万4千円となりまして、固定資産合計も同額の82億2千456万4千円でございます。

次に、2.流動資産の流動資産合計は、5億1千985万円となりまして、資産合計は87億4千441万4千円でございます。

前年度予算に対しまして0.8%、7千418万9千円減額となります。

次に負債の部、3.流動負債の合計は4千184万1千円となりまして、負債合計は同額の4千184万1千円でございます。

次に、資本の部、4.資本金の資本金合計は51億6千311万4千円となりまして、前年度予算に対しまして22%、1億1千543万9千円の減額でございます。

5.剰余金の(1)資本剰余金合計は30億7千334万1千円でございます。

(2)利益剰余金合計は、4億6千611万8千円となりまして、その内訳といたしましては、イ 建設改良積立金1千288万7千円、ロ 繰越未処分利益剰余金4億5千587万5千円、ハ 当年度純損失264万4千円の合計となっております。

したがって、剰余金合計は35億3千945万9千円でございます。その内訳といたしましては、資本剰余金と利益剰余金の合計となっております。

資本合計は87億257万3千円となり、負債資本合計は87億4千441万4千円でございます。

以上、誠に簡単でございますが、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。以上、誠に簡単でございますが、よろしくご審議を賜りますようお願い申し上げます。